

横根平子のまちづくり通信

2021年8月発刊

vol.22

横根平子のまちづくりを考える会

「つながりを育み、想いを共有することをあきらめない」。新型コロナウイルスの終息が見えない厳しい状況の中でも、活動してきたまちづくりを考える会。その歩みは遅く、微々たるものだとしても「よりよいまちづくりを多角的に考える」という理念を私たちは少しずつ形にしてきました。9年目となる横根平子のまちづくりを考える会を、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

私たちのまちは、こんなまち

2021年
4/18
(日)

地元・藤井神社で念願の初上演!
創作紙芝居「藤井宮大明神の御酒瓶子」
春の上演会 開催!

ついに物語の舞台である藤井神社で上演!
愛知県指定文化財・藤井宮御酒瓶子にまつわる創作民話紙芝居の上演会には、地元の方を中心に34名が参加。告知や会場準備などには横根区長さんや藤井神社氏子の皆さんにもご協力いただきました。紙芝居は、この秋、神田小学校6年生にもお披露目予定です!



参加者からは「地元・横根の歴史を初めて知りました!」との感想も。



5/9(日)
5/28(土)

残された民家裏などに生息!
ヒメボタル調査2021

今年で8回目となる発光数調査。造成工事によって環境が大きく変わり、出現が危ぶまれましたが、工事未着工地区や隣接地域などで232頭をカウント!まだかなりのヒメボタルがこの地域に生息し、土さえ残っていれば生息できることがわかりました。



民家の庭にて。ヒメボタルは、たくましく美しい光を放っていました。

まちづくりは、今

2021年
3~5月

今が見納め!貴重な歴史遺構
レンガ用水路の整備と調査を行いました!

皆でレンガを
保存しよう!

2021年秋以降、取り壊し予定の明神川上流・宝池近くのレンガ用水路。この歴史的価値を探るべく、覆われた草木を伐採し清掃・調査。国の登録有形文化財・明神樋門の修繕にも尽力された産業遺産学会前会長の天野武弘さんと考察しました。今なら貴重なレンガの姿を見ることができます!



◀みかん色のレンガ(800℃で焼く甘焼きと推測)には、職人の刻印(廿、井など)があるものも。現段階では刈谷の大野煉瓦のものだと推測されます。

3/6(土) 天野先生と調査

「この用水路の歴史的価値はいかほどか?」素人目にはわからなくても、専門家ならばわかるはずと天野先生にお願いして現地を調査。先生によると、100年以上前の明治時代のレンガと推測。二ツ池公園へと続く遊歩道脇の源泉にも足を運び、レンガの特徴を調べました。

4/3(土) 草木を伐採

チェーンソーで草木を伐採すると用水路の全貌が明らかに!会員の友人たちがさっそうと現れ、のこぎりやチェーンソーを使い脇の草木を伐採。大木も多く苦戦するも、取り払ってみると傾斜もキツく、横幅も広い立派な用水路が現れました。



▲清掃後のレンガ用水路(横根町平子・宝池近く)幅2.7m、長さ 斜面7.7m、平面1.9m

5/1(土) レンガを洗浄

レンガにこびりついた藻を高圧洗浄機で一掃。今回も会員友人が、一個一個、丁寧に磨き上げ、用水路が美しくよみがえりました!



目地がポロポロ取れることから、石灰モルタルではないか。

底面もレンガ造りでU字型というのが貴重!

約2,500個ものレンガを使用

天野先生の考察によると、この用水路はかなりの傾斜(およそ25度)があり、滝のように流れる水量が大きく掘られ、滝つぼになると予測。それを避けるため、レンガを使用したのではないかと推測。また、そのことで土砂が流出して天井川になるのを避ける目的もあったのではと思われます。

7/4
(日)

明神樋門も用水路もみんなで見よう!
遺産を巡る、歴史おさんぽ会 開催!

レンガ用水路はもちろん、明神樋門や藤井宮御酒瓶子出土地も歩いて回れる横根のまち。小雨決行で開催されたおさんぽ会には41名もの参加者が。ふるさとガイドおおぶさんの解説や、天野先生のお話にも耳を傾け、貴重な歴史の痕跡を目に焼き付けました。



横根平子のまちづくりを考える会では個別にレンガ用水路をご案内いたします。今が見納めのこの姿をぜひご覧ください。
※用水路上部の柵は壊れやすく、側面は傾斜があり大変危険ですので、道側からご覧ください。

問い合わせ先
横根町平子

鷹羽 0562-46-4380 http://yokonehirako.jimdo.com/
加納 0562-47-2595 横根平子のまちづくりを考える会

